

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社 三栄コーポレーション

上場取引所 東

コード番号 8119 URL <http://www.sanveicorp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林敬幸

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小平敏之

TEL 03-3847-3500

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	29,464	16.3	276	△69.6	319	△68.2	486	△17.1
25年3月期第3四半期	25,339	3.6	912	△21.6	1,004	△19.2	586	△17.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 995百万円 (41.0%) 25年3月期第3四半期 706百万円 (19.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	207.84	201.93
25年3月期第3四半期	253.35	244.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	18,715	8,835	46.7	3,723.31
25年3月期	17,640	8,225	45.1	3,432.13

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,735百万円 25年3月期 7,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	40.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年6月27日開催の第64回定時株主総会において、平成25年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合が決議されましたので、平成26年3月期(予想)期末につきましては、株式併合を考慮した配当金の額を記載しております。なお、当該株式併合を考慮しない場合の平成26年3月期(予想)期末の配当金の額は8円であり年間配当金は18円となります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	15.7	600	△54.5	700	△49.3	600	△26.4	255.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年6月27日開催の第64回定時株主総会において、平成25年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合が決議されましたので、1株当たり当期純利益の算定におきましては、株式併合を考慮した平成26年3月期 第3四半期末の期末発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	2,552,946 株	25年3月期	2,552,946 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	206,893 株	25年3月期	236,659 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	2,339,631 株	25年3月期3Q	2,315,473 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 平成25年6月27日開催の第64回定時株主総会において、平成25年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合が決議されましたので、1株当たり当期純利益の算定におきましては、株式併合を考慮した平成26年3月期 第3四半期末の期末発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による積極的な経済・金融政策を背景に、企業心理や個人の消費マインドが改善し始め、実態経済面でも徐々に動意が伺えるなど、緩やかな景気回復傾向となりました。しかしながら、海外経済においては、米国の量的緩和縮小により、新興国市場への不安から、内外の市場が不安定になっており、予断の許さない状況が継続しています。

こうした状況下、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、家電事業セグメントを除く各事業セグメントで売り上げが伸長した結果、連結売上高は前年同期比16.3%増加の294億6千4百万円となりました。

利益面では、円安により売上総利益率が前年同期比2.9%低下しましたが、売上高の増加により、売上総利益は同4.1%増加の74億9千9百万円となりました。一方、営業利益については、販管費比率は下がったものの、連結子会社の店舗拡充に伴う人件費や家賃の増加に加えて、広告宣伝費等の先行投資的な支出の増加により、販管費が前年同期比9億3千2百万円増加(14.8%増加)したことから、同69.6%減少の2億7千6百万円となりました。これを受けて、経常利益も同68.2%減少の3億1千9百万円となりました。四半期純利益については、持分法適用関連会社の株式売却に伴う特別利益の計上があったものの、三發電器製造廠有限公司の抜本的な事業改革に係る諸費用などの特別損失もあり、同17.1%減少の4億8千6百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### (家具・家庭用品事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比26.4%増加の155億9千2百万円となりました。OEM事業では、欧米向けキッチン・クッキング用品が順調に売り上げを伸ばしたことに加え、国内専門店向けにリビング家具や天然素材のキッチン用品・収納用品の売り上げが堅調に積み上がりました。ブランド事業においては、独「WMF」「Silite」ブランド等のキッチン製品を扱うヴェーエムエフジャパンコンシューマーズの売り上げが前年同期比で増加しました。

セグメント利益については、円安による売上総利益率の低下や、子会社における販売費や人件費等の経費増により、同80.5%減少の1億5百万円となりました。

#### (服飾雑貨事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比18.8%増加の81億4千6百万円となりました。OEM事業では、国内専門店向けの旅行用キャリーバッグや縫製小物の売り上げが引き続き堅調に推移しました。ブランド事業においては、ドイツ製コンフォートシューズ「ビルケンシュトック」の売り上げが前年同期比増加となったことや、ベルギー発祥のファッションバッグブランド「キプリング」事業を営む新設販売子会社㈱L&Sコーポレーションの売り上げが新たに加わり、売上増に貢献しました。

セグメント利益については、円安による売上総利益率の低下に加え、販売子会社の店舗拡充に係る経費など先行投資的な経費増もあり、同27.6%減少の4億5千8百万円となりました。

#### (家電事業)

当セグメントの売上高は、前年同期比13.4%減少の30億2千6百万円となりました。OEM事業では、国内専門店向け小物生活家電の売り上げが底堅く推移しましたが、採算性向上へ向けて抜本的な事業改革を進めている三發電器製造廠有限公司の売り上げ減少が当セグメントの売上高減少の主因となりました。ブランド事業においては、「モッズ・ヘア」ブランドを展開する販売子会社㈱mhエンタープライズが、理美容器具の新商品投入効果に加え、本社からの事業譲渡により取扱商品群が拡充し、中でも、持ち運び可能な新しいスタイルのブレンダー「マイボトルブレンダー」のヒットもあり、前年同期比大きく売り上げを伸ばしました。

セグメント利益については、三發電器製造廠有限公司の抜本的な事業改革に係る諸費用の計上を主因に1億2千9百万円の赤字となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億7千5百万円増加の187億1千5百万円となりました。

主な資産の変動は、「商品及び製品」が11億9千7百万円増加しております。

主な負債の変動は、「短期借入金」が4億7千7百万円増加しております。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が2億5千万円増加しております。

この結果、自己資本比率は46.7%、1株当たり純資産は3,723円31銭となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年10月25日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第3四半期連結累計期間において、㈱クイジナートサンエイの当社保有全株式を売却したため、持分法適用の範囲から除外しております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

#### ② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,391,872	2,062,191
受取手形及び売掛金	6,180,161	5,879,838
商品及び製品	3,288,049	4,485,169
仕掛品	36,158	42,057
原材料及び貯蔵品	141,621	186,264
繰延税金資産	139,013	127,660
前渡金	122,300	130,093
前払費用	95,712	93,434
短期貸付金	1,015	708
その他	352,179	627,593
貸倒引当金	△6,102	△3,452
流動資産合計	12,741,981	13,631,559
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,351,504	1,390,866
機械装置及び運搬具（純額）	149,341	157,295
工具、器具及び備品（純額）	94,081	132,302
土地	827,502	821,654
リース資産（純額）	2,474	17
建設仮勘定	3,832	21,169
有形固定資産合計	2,428,736	2,523,306
無形固定資産		
リース資産	8,657	766
その他	300,145	353,692
無形固定資産合計	308,803	354,458
投資その他の資産		
投資有価証券	1,656,916	1,671,528
長期貸付金	16,995	16,229
繰延税金資産	42,875	25,708
破産更生債権等	973	971
その他	496,379	542,863
貸倒引当金	△53,638	△51,431
投資その他の資産合計	2,160,501	2,205,869
固定資産合計	4,898,040	5,083,634
資産合計	17,640,021	18,715,194

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,348,261	1,230,416
短期借入金	4,450,328	4,928,238
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000,000
リース債務	11,364	822
未払法人税等	197,559	158,969
繰延税金負債	10,589	27,509
建物等除却損失引当金	1,792	—
賞与引当金	311,566	282,209
役員賞与引当金	39,552	17,972
未払金	947,345	1,016,150
未払費用	289,485	253,757
未払消費税等	26,729	34,725
その他	182,699	215,482
流動負債合計	7,817,275	9,166,254
固定負債		
長期借入金	1,200,000	200,000
リース債務	324	—
繰延税金負債	79,908	217,745
再評価に係る繰延税金負債	81,906	81,906
退職給付引当金	131,901	135,165
役員退職慰労引当金	21,808	28,349
資産除去債務	34,895	40,203
その他	46,300	9,696
固定負債合計	1,597,045	713,067
負債合計	9,414,320	9,879,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,914	1,000,914
資本剰余金	645,815	645,678
利益剰余金	6,715,984	6,966,315
自己株式	△309,227	△271,016
株主資本合計	8,053,487	8,341,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	231,045	451,312
繰延ヘッジ損益	77,264	138,890
土地再評価差額金	64,686	64,686
為替換算調整勘定	△476,686	△261,703
その他の包括利益累計額合計	△103,689	393,186
新株予約権	106,833	90,061
少数株主持分	169,069	10,732
純資産合計	8,225,701	8,835,872
負債純資産合計	17,640,021	18,715,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	25,339,165	29,464,609
売上原価	18,136,218	21,964,708
売上総利益	7,202,946	7,499,900
販売費及び一般管理費		
販売費	1,260,364	1,555,976
一般管理費	5,030,198	5,666,946
販売費及び一般管理費合計	6,290,563	7,222,923
営業利益	912,382	276,977
営業外収益		
受取利息	2,563	2,948
受取配当金	18,477	24,052
為替差益	30,796	30,933
持分法による投資利益	63,225	25,705
その他	12,794	10,048
営業外収益合計	127,856	93,689
営業外費用		
支払利息	34,952	39,929
デリバティブ評価損	—	9,144
その他	1,285	2,291
営業外費用合計	36,237	51,364
経常利益	1,004,001	319,301
特別利益		
固定資産売却益	2,399	2,702
関係会社株式売却益	—	670,051
その他	4,789	104
特別利益合計	7,188	672,858
特別損失		
固定資産売却損	160	0
固定資産除却損	2,495	7,993
賃貸借契約解約損	—	24,728
減損損失	301	—
特別退職金	—	63,205
関係会社整理損	—	28,384
その他	300	1,895
特別損失合計	3,258	126,207
税金等調整前四半期純利益	1,007,932	865,952
法人税、住民税及び事業税	383,410	390,414
法人税等調整額	45,152	△2,996
法人税等合計	428,562	387,417
少数株主損益調整前四半期純利益	579,369	478,535
少数株主損失(△)	△7,249	△7,724
四半期純利益	586,619	486,259



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	579,369	478,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,526	220,266
繰延ヘッジ損益	65,104	61,626
為替換算調整勘定	8,319	235,142
その他の包括利益合計	126,951	517,035
四半期包括利益	706,321	995,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	713,323	983,135
少数株主に係る四半期包括利益	△7,002	12,435

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,340,453	6,855,262	3,493,474	22,689,190	2,649,974	25,339,165	—	25,339,165
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,972	43	7,508	24,524	57,951	82,476	△82,476	—
計	12,357,425	6,855,306	3,500,982	22,713,715	2,707,926	25,421,641	△82,476	25,339,165
セグメント利益又は 損失(△)	541,998	632,747	△65,748	1,108,997	37,813	1,146,810	△234,427	912,382

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△234,427千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	家具・家庭用 品事業	服飾雑貨 事業	家電事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,592,674	8,146,849	3,026,126	26,765,650	2,698,958	29,464,609	—	29,464,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,069	1,448	10,679	22,197	91,023	113,220	△113,220	—
計	15,602,743	8,148,298	3,036,805	26,787,847	2,789,982	29,577,829	△113,220	29,464,609
セグメント利益又は 損失(△)	105,513	458,113	△129,663	433,963	14,614	448,578	△171,601	276,977

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△171,601千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。